



中嶋 秀明 教授

整形外科が向き合うのは、「運動器」です。

朝、目を覚まして起き上がる。

歩く。手を伸ばす。行きたい場所へ行く。

小児から高齢者まで、人生のあらゆるステージにおいて、「運動器」の健康を支えることが整形外科医の使命です。

その使命を果たすために、私たちは日々の診療に加え、

次世代医療の創出と医療技術の向上を目指して研究を続けています。

その成果は、全国的にも国際的にも高い評価を得ています。

未来の整形外科とともに創る仲間を歓迎します。

脊椎脊髄外科学

圧迫性脊髄症・神経障害性疼痛の病態研究

中和抗体やエクソソームを用いた創薬研究

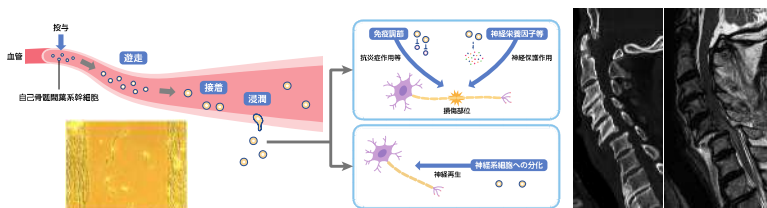


ロコモティブシンドローム 3大疾患

圧迫性脊髄症や疼痛関連の基礎研究を継続してきました。これらの基盤を活かし、現在は東京大学定量生命科学研究所と整形外科主要疾患に対する創薬に向けた研究に取り組んでいます。

Kubota A, et al. *Front Cell Neurosci* 2026
 Nakajima H, et al. *JBMR Plus* 2025
 Nakajima H, et al. *Spine* 2020
 Takeura N, et al. *Sci Rep.* 2019

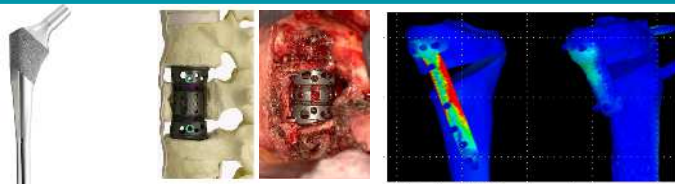
急性脊髄損傷に対する脊髄再生研究



急性脊髄損傷の再生医療研究も当教室のメインテーマのひとつです。基礎研究を継続していた骨髄由来間葉系幹細胞を用いた再生医療は、現在では臨床応用され、本学も実施可能施設に認定されています。

Takahashi A, et al. *Cells* 12(11):1470, 2023
 Honjoh K, et al. *Front Cell Neurosci* 2019
 Takahashi A, et al. *Cell Transplant* 2018
 Watanabe S, et al. *Stem Cells* 2015
 Nakajima H, Uchida K et al. *J Neurotrauma* 2012

関節外科学・産学官連携臨床研究



人工股関節用ステム 国内1000例以上の使用実績
 日本人用人工椎体 国内800例以上の使用実績

既存T字型 新規開発
 膝関節骨切り術に使用する新たなプレートの開発

工学部や企業と連携した新たなインプラントの開発を行ってきました。現在は、新たなコンセプトの膝関節用プレート開発を進めています。

Kitade M, et al. *Int Orthop* 2025
 Nakajima H, et al. *J Neurosurg Spine* 2016

骨軟部腫瘍



整形外科も生命に関わる疾患に遭遇します。前・松峯昭彦教授の専門である骨軟部腫瘍は、近隣を含め県内の患者は当院に集約されます。そのため、多くの臨床治験や基礎研究が行われています。

Izubuchi Y, et al. *Biomedicines* 2026
 Izubuchi Y, et al. *J Cancer Res Clin Oncol* 2023

少数精鋭の教室だからこそ、個々の志向に応じた育成に責任をもてます。年間約1000件の手術を全員参加で行い、豊富な手術経験で臨床力を培い、そこで得た課題を研究へと発展させる。地域医療を支えながら、全国的・国際的にも存在感のある教室の継続を目指しています。次代の整形外科とともに担う皆さんを歓迎します。



整形外科学
ホームページ

